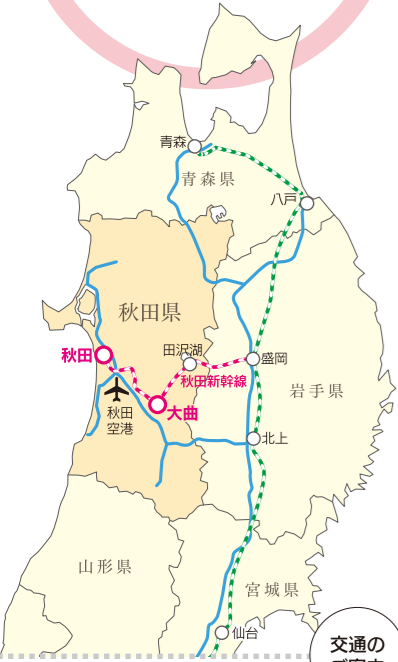


機敏に柔軟に
質の高い
医療を提供

秋田県立
病院機構

秋田県立
脳血管研究
センター

秋田県立
リハビリテーション・
精神医療センター



●飛行機

東京(羽田)	約65分	秋田
札幌(千歳)	約55分	秋田
名古屋(中部)	約80分	秋田
大阪(伊丹)	約80分	秋田

●新幹線
JR東京駅よりJR秋田駅まで約4時間
JR東京駅よりJR大曲駅まで約3時間30分

秋田県立病院機構(本部事務局)

Akita Prefectural Hospital Organization

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6番10号(秋田県立脳血管研究センター内2F)
TEL.018-833-0115 FAX.018-834-0733
<http://www.akita-hos.or.jp/>



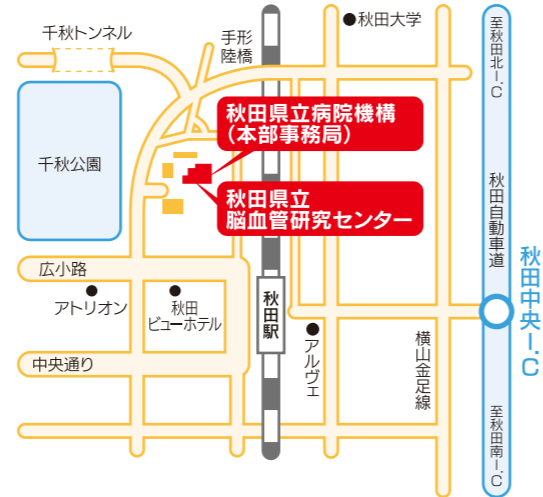
秋田県立脳血管研究センター

Research Institute for Brain and Blood Vessels-Akita

〒010-0874 秋田県秋田市千秋久保田町6番10号
TEL.018-833-0115 FAX.018-833-2104
<http://www.akita-noken.jp/>



- 交通のご案内
- 自動車利用
秋田中央ICより約15分
 - JR利用
JR秋田駅から徒歩約7分
 - 飛行機利用
秋田空港より秋田駅西口まで
リムジンバスで約40分



秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

Akita Prefectural Center for Rehabilitation and Psychiatric Medicine

〒019-2413 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352
TEL.018-892-3751 FAX.018-892-3759
<http://www.akita-rehacen.jp/>



交通のご案内

- 自動車利用
協和ICより約3分、JR羽後境駅より約5分、
秋田空港より約20分、JR秋田駅より約45分
- バス利用
[羽後交通境営業所乗車、リハセン前下車]
(または坊台下車 徒歩約5分)
羽後交通境営業所より
新田行または下川口行で約10分
※羽後境駅と羽後交通境営業所間は徒歩約3分です。
※帰りは羽後交通境営業所行にお乗りください。
- JR利用
[JR奥羽本線羽後境駅下車]
JR秋田駅よりJR羽後境駅まで約25分
JR大曲駅よりJR羽後境駅まで約25分



Akita Prefectural Hospital Organization
Akita Prefectural Center for
Rehabilitation and Psychiatric Medicine

患者さんに寄り添った医療とケア

地方独立行政法人 秋田県立病院機構

秋田県立 リハビリテーション・ 精神医療センター





センター長
小畑信房

当センターは、脳血管障害等の患者さんの運動機能回復等を主な目的とするリハビリテーション科と精神障害者一般の治療を目的とする精神科の2つの科が中心となる病院です。

検査機器ではMRI、CT、SPECTをそろえ、放射線科医師が読影しています。リハビリテーション科においては、担当医師の指導の下、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がそろい、365日毎日訓練が行われています。精神科では、一般精神障害者の治療に加え、県精神科救急医療システムの第3次救急機能を担い、24時間体制で入院を受け入れています。また、認知症医療においては、リハビリテーション科と精神科の両科の特色を活かした認知症診療部を設置し、独自の認知症医療をめざして診療を行っており、認知症疾患医療センターの指定を受けています。

今後は、「伝える文化、育てる文化」を合い言葉として、外には情報発信機能、内には人材育成を重視し、「頼りになるリハセン」と県民から呼ばれる病院を目指して診療していきたいと考えます。

「リハセン」を目指して 県民に頼られる

理念

県民に生じた身体の障害やこころの悩みなどに起因する障害の軽減を図るため、患者さんの権利の尊重を基本とし、安心して安全、良質で高度な医療を提供してまいります。

県内のリハビリテーション医療・精神医療の中核的施設としての役割を果たすとともに、地域の健康推進事業への積極的な支援をしてまいります。



ロゴマークについて

2色の若葉は命の力強さとリハビリテーション科・精神科を表し、それが交わることで、それぞれの特性を活かす協力を表しています。

周囲の円は、患者さんと職員のパートナーシップや地域との連携、多職種協働の理念を表しています。

基本方針

1. 常に全職員が知識・医療技術の研鑽に努め、良質で高度な医療を提供してまいります。
2. 地域の医療機関・施設・団体等との連携を図り、保健・医療・福祉の活動へ支援するとともに、リハビリテーション医療・精神医療の水準向上に努めてまいります。
3. 患者さんの権利を尊重するとともに、患者さん中心の医療に努め、患者さんから選ばれる病院を目指してまいります。
4. 患者さんの安全に配慮した医療とともに療養環境の向上に努めてまいります。
5. 全職員が病院運営への参加意識を高め、創意工夫を取り入れた効率的な管理運営に努めてまいります。

患者さんの権利

当センターは、患者さんの権利を尊重し、最適な医療を提供してまいります。

1. 尊厳とプライバシーが守られる権利を持っています。
2. 病名や治療方針等について十分な説明を受けることができます。
3. 病状と治療法を理解した上で、希望にそった治療を受けることができます。
4. 受けた医療の内容について知ることができます。
5. 医療費の明細や公的援助などについて情報を知ることができます。

患者さんと医療者のパートナーシップ

- ・「インフォームド・コンセント（説明と同意）」による治療を行います。
- ・セカンドオピニオンについての希望を保障します。
- ・カルテ開示等の情報提供を求めることができます。

日本医療機能評価機構

当センターは、財団法人日本医療機能評価機構の認定医療機関です。

◎認定証区分JC299-2号
◎審査体制区分3(ver.5.0)
認定期間：2009年9月27日～2014年9月26日（更新予定）



リハビリテーション科診療部

機能訓練部



365日の
リハビリテーション体制で、
きめ細やかなサポート

高度な設備機器と技術。
多職種が連携して、退院後の準備まで。



脳卒中を中心としたリハビリテーション

脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)や、神経疾患、脊髄損傷、骨折後などを中心に、主に入院でのリハビリテーションを提供しています。



広域を対象とした専門リハビリテーション医療

インターチェンジに近く、県南県北へのアクセスが可能です。高速道路沿線の病院と連携をとりながら、発症早期からのリハビリテーションを行っています。



日常生活動作・嚥下障害への専門的対応

日常生活に必要な身の回りの動作や、日々の生活に欠かせない嚥下機能への適切な評価、訓練を行い、対応方法を提案します。



多職種によるチームアプローチ

病棟では医師、コメディカルスタッフ、看護師がチームとなって連携し、患者さんに必要な機能改善を目的としたアプローチと、退院後の準備を行っています。

理学療法室



屋外歩行訓練施設



歩行訓練

作業療法室



調理訓練



作業療法



県内病院唯一のドライブシミュレータ

言語聴覚療法室



集団コミュニケーション療法



PC課題



聴力検査

臨床心理室



心理検査・心理療法

精神科診療部



多職種
のスタッフが
親身にサポート

秋田県の精神科救急拠点病院に指定。
急性期からの重点的なケアで、早期回復を。



精神科急性期 治療病棟を設置

精神科救急も含めた
さまざまな急性期症
状に対応。集中的な治
療で早期退院を目指
します。



充実した 検査設備を 活かした診察

通常の診察だけでなく
画像診断、臨床検
査、心理検査などを駆
使して診断治療に取り
組んでいます。



精神科リハビリ テーションで 回復を支援

回復期には作業療法、
集団精神療法など多
職種のかかわりで社
会復帰を促します。



デイケア

外来通院の患者さん
にはデイケアによるサ
ポートを行っています。
安定期に入ってから
もコミュニケーション
能力や生活能力の向
上のために精神科リ
ハビリテーションを
継続できます。

認知症診療部



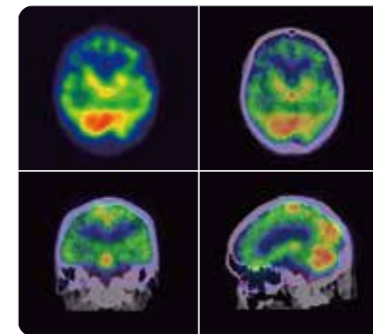
一人ひとりの
病状にあわせて

認知症、高次脳機能障害を専門的に診療。
家族指導や身体訓練でトータルケア。



専門性を活かした 診療体制

リハビリテーション科
と神経内科、精神科の
医師がそれぞれの特
徴を活かした幅広い
診療を行っています。



精度の高い 診断にもとづいた 治療計画

診察と画像診断や心
理検査などの結果を
ふまえた精度の高い
診断にもとづいて、治
療計画を立てています。



多職種の 連携で多角的な 入院治療

入院では作業療法、機
能回復訓練、ご家族へ
の指導など多職種に
よるさまざまなアプ
ローチで回復を促し
ます。

「もの忘れ外来」は 予約制です。

それぞれの症状にあった診察を
行うため、事前に状況をお伺いし
ております。受診を希望される方
はお電話でお尋ねください。

☎018-892-3751(代表)
(月～金曜日の午前9時～午後5時)



診療支援部

放射線科

患者さんの安全を
第一に考えた検査を



秋田県でいち早く
SPECT-CTを導入

常に新しい技術と知識を取り入れ、
診断に役立つハイレベルな画像を提供。



モニタ診断



CT



MRI

薬剤科

有効で安全な薬物療法の
ために、医薬品の適切な管
理と使用に努めています。

最新の情報と正しい知識に
基づいて処方監査し、オー
ダーシステムと連動した調剤機器で正確で迅速
な調剤を行っています。

薬剤が正しく服用されるように、患者さんの状
態や要望に応じて薬剤の再包装を行い、効果や
副作用については解りやすく説明をしています。



臨床
検査科

脳波・心電図などの生理検査と止血
凝固検査、血小板凝集能、生化学検査
などの検体検査を実施し、検査結果は
迅速かつ正確に主治医へ報告します。



医療安全
対策室

患者さんへの「質の高い医療の提
供」と、「安心して安全な医療の定着」を目
的に設置しております。

医療安全に関する情報収集、ヒヤリ
ハットの集計・分析、それらの院内への
フィードバックなどで、部門間の相互連
携推進と業務改善を図り、事故防止に
努めています。

感染
対策室

患者さんと医療従事者、来訪者、その
他医療環境にいる人々に安全な医療
環境を提供するため、医療関連感染症
の予防と医療の質の向上を目的に活動
しています。

感染リスクを減らすための介入(実
践)、感染予防ケアを推進した教育指導
を行うとともに、あらゆる部門からの相談
に応じています。また、組織横断的に院内
感染防止対策に関する啓発を推進して
います。

栄養科

入院されたすべての患者さんについ
て、食事摂取状況や身体状況から個々
に栄養管理計画を策定し、栄養状態の
維持・改善に努めています。

食事は季節感や色彩に気を配り、安
全でおいしい食事を目指しています。患者さんの病態・嚥
下状態に対応した食事を提供し、栄養指導と併せて退院後
の食生活に繋げていきます。



医療相談
連携室

精神保健福祉士・社会福祉士、作業
療法士、看護師、医療クラーク、事務が
配置されております。

患者さんやご家族からの各種相談に
対して、迅速かつ適切な対応を心がけ
ております。また、地域の病院・診療所、福祉施設等と連携
を図り、より良い医療の提供に努めております。



歯科

入院患者さんの歯科診療、口腔ケア。

嚥下障害を持つ方の歯科治療は、他科との連携のもとで特別な
配慮が必要となります。誤嚥性肺炎を防止すべく、口腔ケアを
行っています。



看護部



おもいやりのある
看護をめざして

看護理念

患者さんの権利の尊重を基本とし、身体や、こころの障害を受け止めながら、その人らしさを失わず生活の再構築ができるよう、おもいやりのある看護サービスに努めます。

患者さんも家族の方も安心できる
心あたたかい看護を実施。



合同カンファレンス

患者さん一人ひとり、入院から退院後の生活を見通した検討会を定期的に行っています。



看護研究発表会

日々の看護実践からの疑問をテーマに選び、新たに得た知見を活用しながら専門性を追求しています。



院内研修

キャリア発達モデルに沿って研修を企画し、全看護職員の知識と技術の向上を図っています。



新人研修

プリセプターシップを導入し、技術研修の他、年5回の集合教育を現場教育と連動させて行っています。

センターの概要



設置・運営主体
地方独立行政法人
秋田県立病院機構

診療科目
リハビリテーション科、
精神科、放射線科、歯科

病床数
リハビリテーション科100床
精神科200床
(うち100床は認知症対象)
合計300床

建築概要
敷地面積 250,858.54m²

病院
地上3階、鉄筋コンクリート造
(一部鉄筋コンクリート造、鉄骨造)
延床面積 23,340.13m²
工期 着工:平成6年10月3日
竣工:平成8年8月30日

単身用宿舎(研修生使用可)
世帯用宿舎

付属運動施設
テニスコート(全天候型2面)
ふれあいグラウンド
(周回200mトラック1面)

職員数

(平成26年4月1日現在)

職種	現任者数	職種	現任者数
医師	16	診療放射線技師	4
看護師	167	臨床検査技師	3
理学療法士	23	薬剤師	3
作業療法士	24	管理栄養士	3
言語聴覚士	7	精神保健福祉士	6
心理判定員	3	社会福祉士	2
介護福祉士	12	事務	15
		合計	288

外来(リハビリテーション科、精神科、もの忘れ外来)

◎受付時間/午前8時30分~11時

当センターは予約制です。

原則として、初診の方には、電話等で予約をいただいております。
現在受診している医療機関からの紹介状の準備をお願いします。



リハセン抗加齢ドック

脳と生活習慣病予防ドックを兼ねたユニークな健診を行います。体力やバランス、敏捷性など運動能力評価を行い、加齢や病気の影響を診断します。健診とその検査結果の説明は同日中に担当医から行われます。

検査日	毎週金曜日(予約制) 午前8時30分から午後2時まで
検査内容	体組成・超音波骨密度・頸部エコー、CaviとABI(血管年齢・動脈硬化)、頭部・腹部MRI(内臓脂肪測定)、胸部X線、血液・尿・心電図・肺機能、PWC(体力・持久力)・バランス検査、敏捷テスト

◎外来へのお問い合わせ・リハセン抗加齢ドックのお申し込みは ☎018-892-3751(代表)(月~金曜日の午前9時~午後5時)